



「キンダーリープお店再開いたします。」

店長すぎもと



昨年の10月23日に小樽の実店舗を閉じてからちょうど1年、自宅を事務所代わりにして、時々移動販売車を走らせながら細々と営業を続けて参りましたが、このたび小樽の都通商店街アーケードの中の、元モード洋装店さまの場所をお借りしてお店を再開する運びとなりました。

この1年の間には、店舗を失った喪失感からしばらくは呆然とした日々を過ごしたり、まだ閉店をご存じなく旧店舗に足を運んでビックリなさせて頂きながら電話をくださる方への対応や、コロナ前のレベルにかなり戻ってきた出張研修の依頼など、少なくなった人員での対応としては、ある意味ちょうどよい経費をかけない運営が出来ていたかもしれません。

でも一方で借財の返済は待たないで、さらに私の持病も徐々に進行しています。

「もう一度やれるとしたら…」の可能性はどんどん小さくなってきておりましたが、それでもまだ面白そうな物件があると聞けばマメに足は運んでおりました。今までにも何度か店舗の引っ越しの度にいろんな物件を見て回るの、自分にはユメのある前向きな可能性を楽しむ行為でもあり、経理を預かるヨメさんにとっては、いちいちダメ出しをしなくてはいけないヤレヤレな時間だったかもしれませんが、今回の物件探しが今までで一番時間も手間も掛けたような気がします。

そんな中で江別の昭和レトロ商店街や、小樽の思いがけない歴史的建造物など、今回かなりのめり込んだ出会いもいくつかあったのですが、突然まったく瓢箪から駒のように、小樽市中心部の歴史ある商店街の中、素敵な総ガラス張り2階建ての建物にご縁ができたのは、やはり行き当たりバッチリとしか言いようがありません。

既にお盆休み以降に何度かお試し営業をさせていただき、駐車場はないけれど周辺には沢山のコインパーキングがあること、小樽駅から歩いてすぐの便利な場所であること、全天候型の雨にも雪にも強い、しかも11時以降はクルマの通らない歩行者天国であり、子連れでも安心であること、寂れているイメージはありましたが、実際に営業してみるとまだまだ素敵なお店も沢山あるし人通りもそれなりにあって、札幌以外ではまだ一番残っている商店街なのでは？と感じました。歩いて回れる顔が見えるコンパクトシティとしての可能性があると思います。そこで我々は以前と同じくプレイコーナーがあったり、授乳スペースや講習会ギャラリーを開設できるお店を徐々に整えていく予定です。

新しい場所で皆さまにまたお目にかかるのを楽しみにしております。

(つうしん 2024年10月号より)

